

グラフ

実験器具がカウンターに並ぶサイエンスバー「FRACTAL (フラクタル)」。ピーカーやフラスコを使って飲み物の「調合」などが楽しめる



バーに併設されたラボで、見学の親子連れに説明する境宏樹さん

温度計で測りながら、アルコールランプで日本酒を熱かんに



飲み物は、本物のフラスコやピーカーで提供される



液化窒素で冷却されたマシュマロは、不思議な食感に変化する



科学のワクワク味わって

愛知・岡崎のサイエンスバー

水兵リーベ僕の船♪ 元素の周期表を覚える懐かしいフレーズをBGMに、ブラックライトに照らされたフラスコや試験管が浮かび上がる。カウンターで迎えるのは白衣をまとったドクターだ。

「科学」と「バー」。愛知県岡崎市羽根町のサイエンスバー「FRACTAL (フラクタル)」は異色の組み合わせで人気を集める。科学を身近に感じてもらおうと2016年に境

宏樹さん(26)が始めた。飲食物はピーカーやシャーレ、ピンセットなどで提供。液化窒素で瞬間冷却したマシュマロや、アルコールランプで温める熱かんなど、科学にちなむ工夫が凝らされている。ノンアルコールの飲み物もあり、親子連れや学生も訪れる。

併設のラボ(研究室)には実験器具が並び、有機合成化学を専門とする境さんが自身の研究に使う。無料

のサイエンスショーには全国から観覧者が訪れ、子どもから大人までが目を輝かせる。

「テクノロジーの発展は、国の発展につながる。理系離れを食い止めたい」と境さん。未来の科学者がここから羽ばたくかもしれない。

店舗情報はホームページ(サイエンスバーフラクタルで検索)で紹介している。

写真・文 中森麻未

実験器具でドリンク提供

いずれも愛知県岡崎市で

全国から観覧者が訪れる人気のサイエンスショー

